

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 英語		科目名 論理・表現Ⅱ		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
各授業 (Grand View/Vision Quest)	書くこと (短文)	扱う文法事項や表現を適切に理解し使用することができる。	扱う文法事項や表現を適切に使用して、情報や考えを書くことができる。	扱う文法事項や表現を理解し身に付け、使用しようとしている。
各授業 (EAERHRISE)	聞くこと 読むこと 書くこと 話すこと (Discussion/Debate /Speech/Essay)	ア 日常的な話題や社会的な話題で使用される語彙や表現を理解している。 イ 意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える表現や文章構造を理解し、使用することができる。	ア 自分の意見を相手に理解してもらえるように、理由と適切な証拠や例を用いて、論理的に書いたり、発表したり交換したりすることができる。 イ 相手の意見を論理的批判的に読んだり聞いたりして、これについての意見を論理的に伝えることができる。	ア 日常的な話題や社会的な話題で使用される語彙や表現を適切な文脈で使用しようとしている。 イ 自分の意見を相手に理解してもらえるように、理由と適切な証拠や例を用いて、論理的に書いたり、発表したり交換したりしようとしている。また相手を論理的批判的に読んだり聞いたりして、これについての意見を論理的に伝えようとしている。
主な評価方法		定期考査	定期考査 パフォーマンステスト	行動観察 (授業)、提出物 定期考査 (HR)、パフォーマンステスト
その他				